

パフォーマンス課題

学習課題 評価 学習の流れ

スプレッドシートの活用

足立知弘・5月1日

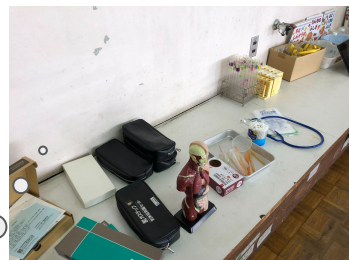
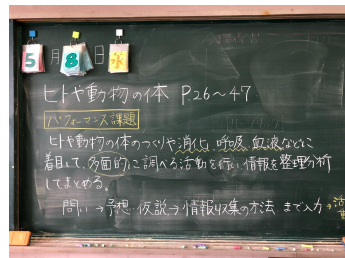
100 点

スプレッドシートです。

ヒトや動物の体
Google スプレッドシート

協働的

結果・振り返りの共有



個別の問いに対する実験道具を選びます

個別最適(学習の個性化)

[illegible]

個別の課題が共有されている



臓器の場所を確認



はく動の数を調べる